

入選おめでとう

第40回 県ジュニア美術展覧会

入選した村の子どもたちの作品を紹介します。

* 敬称略。順不同。

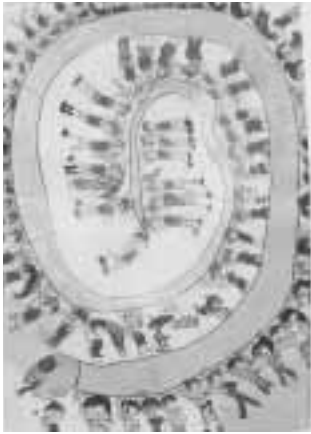
主催 新潟日報社、県教育委員会など

応募数 県内の保育・幼稚園、小・中学校などから
絵画と版画計37,315点

入選数 2,060点

(特賞30点、優秀賞190点、奨励賞1,840点)

優秀賞
6点



さくら
小田 桜生
(関小2年・下川口)



かず な
須貝 和菜
(土沢小5年・大島)



りゅう た
佐藤 竜太
(安角小3年・安角)



りゅうたろう
須貝 龍太郎
(土沢小3年・大島)



ももこ
佐藤 萌々子
(安角小2年・安角)



ま お
井上 麻央
(土沢小2年・上土沢)



伊藤 翔
(関小2年・聞出)

奨励賞
16点



丹 龍輝
(関小4年・下関)



ゆう ほ
佐久間 夕穂
(関小4年・下関)



ひなこ
齋藤 日奈子
(関小4年・南赤谷)



大島 七泉
(女川小3年・上野新)



駒沢 陸
(土沢小3年・鍛江沢)

先生から
先生に



黒澤信子先生

(女川小学校 養護教諭)

随想
リレー

70

二〇〇九年を表す漢字は「新」と発表があった。日本や米国での新政権、新大統領の誕生、新型インフルエンザの流行などを理由に選ばれた漢字とのこと。この関川村にとっても「新」という漢字がぴったりであったのでは…。

夏、新潟代表として甲子園決勝戦で県勢初の準優勝を果たしてくれた、日本文化高校の伊藤直輝投手(上関)と若林尚希捕手(下関)の活躍が忘れられない。村の人や日本中の人に感動を与えてくれた、新(ニュー)フェイスのお二方です。

十二月六日、朝方の雨も上がり、地の固まった頃に、新・関川小学校の校舎が完成し、竣工式が盛大に行われた。立派な三階建ての校舎で、中は村有林のヒノ

キ材が多く使われた木のぬくもりと香りのする、広い明るい素敵な校舎であった。そして、新たな伝統を築く校章や校歌も完成し、子どもたちの歌声や活動の音が響き渡るのを待っているかのような新生な雰囲気を感じ、感謝の気持ちで式に臨ませてもらいました。

さて、世の中が「新」のモードで一色の頃、わが家でも新しい出来事があった。九月、長女に娘が生まれて、新祖母さんに。三人の子育ての時とはまた別に、孫は可愛い。そのひ孫を見ながら、命のバトンタッチをして安らかに旅立った父。今、自分がこうして新年を迎えられる諸々のことに感謝しながら、つとめを果たしつつ、生きていきたいと思えます。

2月1日号は、田澤美鶴先生(土沢小)にバトンタッチ!



よし ふみ
新野吉郁
(関小5年・金丸)



さ ほ
阿部紗穂
(土沢小4年・大島)



ゆう
駒沢優
(土沢小5年・鎌江沢)



かい と
渡辺海斗
(関小5年・下関)



ひろ みち
高橋寛道
(土沢小5年・上土沢)



ま ゆ
沢田茉優
(土沢小5年・大島)



あや め
磯部彩芽
(関小6年・上関)



村田遥紀
(女川小5年・宮前)



たつ き
栗原竜樹
(関小6年・上関)



たか のり
渡辺貴法
(関小6年・沼)